

※この事業は(財)榊山教育振興会の助成を受けて実施しています。

中学生海外派遣事業

平成 18 年度 大洲市中学生海外派遣事業



大洲市中学生海外派遣事業に参加して

団長 (大洲南中学校長) 中野 伸一

このたびの海外派遣事業で行かせていただいた「ゴールドコースト」は、すべてが絵葉書になるようなきれいな街でした。約 42 km にわたる海岸線は、まさにゴールドのような黄色い砂浜が続き、世界的なビーチリゾートとなっています。この美しい街に生徒引率として同行させていただき、心より感謝申し上げます。

12名の生徒たちは、約2週間、各家庭に一人でホームステイをしました。言葉が通じない上に、初めて出会った家族の人たちと生活を共にするのですから、かなり気苦労もあったと思います。しかし、最後の日には、家族と抱き合っただけ別れを惜しむ生徒もいて、バスの出発が遅れるほどでした。後半に入ると英会話にも慣れてきたのか、私のために通訳をしてくれる生徒も出てきました。生徒たちの優れた適応能力やコミュニケーション能力には、本当に感心させられました。

オーストラリアでは、子どもは家の手伝いを小さい頃からするそうです。自分が使ったもの、使った部屋など、自分で汚したものは自分で片付けるというのが当たり前なのです。生徒たちも使った食器を台所まで下げたり、料理を手伝ったり、家のまわりの草引きをしたりと頑張っていました。

平日は、近くの小学校で英語等の授業を受けました。日本のように細かい校則がないので厳しくないように見えますが、決してそうではありません。遅刻や宿題や授業態度にはとても厳しいようです。私が参観した授業でも、教室の片隅で特別メニューの授業を課せられた児童がいました。誰が見ていようと規則は規則という強い姿勢が感じられました。

英語の先生は、日本に14回も来たそうです。世界中を旅した中で、日本が一番美しいと言っていました。「うなぎ」・「そば」が大好きだそうです。日本語は上手ではありませんでしたが、お互い辞書を片手に、楽しく会話をさせていただきました。土産話は尽きません…。紙面の都合で割愛させていただきます。

平成 18 年度大洲市中学生海外派遣日程

7月26日(水)	出発式、大洲市発 松山から大阪を経由し、 ブリスベンへ
7月27日(木)	ブリスベン着 ブリスベーン市内見学(半日)、 ホストファミリーとの対面式、 ホームステイ開始
7月28日(金)	大洲市中学生のための研修プログラム ・英会話クラス(半日×5日間) ・現地見学学習(終日・半日各1回) ・文化交流 ・スポーツ ・福祉施設訪問 ・生徒間交流 ・ホストファミリーとの交流 ・終了証の授与 ・さよならパーティ
↓	
8月7日(月)	
8月8日(火)	ホストファミリーとお別れ ゴールドコースト市内研修(終日)
8月9日(水)	ブリスベンからシドニーを経由し、 大阪へ
8月10日(木)	大阪から松山へ 大洲市着、帰国報告会



中学生海外派遣事業

派遣事業に参加して

大洲南中学校 上野 史記

今回の海外派遣事業のホームステイは、僕にとって初めての海外旅行でした。オーストラリアでの2週間は本当に貴重な体験でした。

最初は不安で一杯でしたが、英語も1週間もすれば話していることが少しずつ理解できるようになりました。ホストファミリーもみんな優しく、末っ子の僕にとってホストブラザーやシスターは弟や妹ができたみたいでとてもうれしかったです。オーストラリアでの生活は毎日が新しい発見ばかりで本当に充実していました。人の温かさや文化の違いにふれ、日本にいると気がつかなかった日本のよい所などを発見し、多くのことを学ぶことができました。僕は、この研修で感

じ経験したことを忘れず、日々の生活に生かしたいと思います。このような機会を与えてくださった方々に、心から感謝したいと思います。



かけがえのない体験

大洲東中学校 芳我 真由美

私は、海外派遣事業に参加してたくさんのことを学ぶことができました。日本ではできないことを体験することができました。

ホームステイでは、ホストファミリーと良い関係を築くことができました。優しく接して下さったり、オーストラリアのことをいろいろと教えて下さったりしました。毎日が充実していて本当に楽しい日々でした。

ホスト校では、オーストラリアの友だちと楽しい時間を過ごすことができました。多民族国家ならではのたくさんの国の子どもたちと触れ合うことができ、うれしかったです。

そして、オーストラリアの動物のコアラ、カンガルーを初めてこの目で見て、触れることができてうれしかざりでした。また、羊の毛刈りを見たり、子羊に乳やりをしたりすることもでき感激でした。

この海外派遣事業は、私にとって最高の思い出となりました。学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思っています。



オーストラリア海外派遣に行って

肱東中学校 矢野 絢

私は、オーストラリアに行ってきたことを知ることができました。学校に行き驚いたことは、おやつがあることです。11時から40分間おやつがあり、1時から40分間昼食の時間がありました。向こうの人は、とにかくよく食べていました。

ほかにも驚いたことがあります。オーストラリアでは、特有の言葉が話されていました。普段学校で習う発音と現地の人が話す発音は、違っていました。それに、キャンディーのことをローリーと言ったり、聞き慣れない言葉をたくさん話していました。最初は聞きとれなかった会話も、徐々に聞き取れるようになりました。しかし、英語に慣れたところで研修が終わってしまいました。残念でした。

オーストラリアに行ってみて、異文化を知ることができました。それと同時に、日本の良さや文化や日本の良いところも知ることができました。楽しかったし、学んだことも多いので、本当に行ってきたと思いました。



楽しく過ごした16日間

大洲南中学校 鈴木 菜

私の今回の海外派遣での一番の思い出となったのは、ホストファミリーと一緒にいった動物園で過ごした1日でした。そこでは、生まれて初めて自分の目で見た動物もたくさんいました。オーストラリアで有名なコアラとカンガルーを見ることもできました。特にコアラは抱っこもできて、とてもよい思い出になりました。

学校での一日も楽しかったです。ホストファミリー以外の友だちもたくさんできました。言葉が分からない、言いたいことが言えないなどの困ったとき、身ぶり手ぶりでの下手なジェスチャーでも相手が「ああ!!」と分かったようにうなずいてくれたときは、うれしかったです。言葉が分からなくても、伝えたいという気持ちが強ければ、相手も分かってくれると思いました。

今回の派遣事業で私が学べたことはとても大きなもので、「感謝」ということです。これからも感謝の気持ちで毎日を過ごしたいです。



中学生海外派遣事業

オーストラリア研修を終えて

新谷中学校 森岡 航

7月26日から8月10日までの16日間海外派遣事業で、オーストラリア研修を体験することができました。その間、英会話の楽しさだけでなく、大自然や文化の素晴らしさにも触れることができました。

ホストファミリーは明るく楽しい方々で、僕を2人の息子と同じように受け入れてくださり、不安なこともなく過ごすことができました。初めのうちは、英語での会話は難しく、伝えたいことがうまく伝わりませんでした。次第に慣れてきて、子どもたちと遊んだり、家の手伝いをしたりしていくうちに人と人との関わりやコミュニケーションの大切さを改めて感じました。

これから、さらに英語を勉強して、オーストラリアの家族に会いに行けるようにならばと思っています。

この素晴らしい機会を与えてくださった方々に感謝したいと思います。



海外派遣を終えて

平野中学校 川西 未紗

「こんにちは」少し緊張気味だった私にホストスクールの生徒が初めて声をかけてくれた言葉です。休み時間には生徒たちが学校を案内してくれたり、オーストラリアの遊びを教えてくださいました。ホストファミリーの家では、お手玉や和紙人形作りを通して日本の昔の遊びを教えることができました。

また、たばこやお酒、選挙権など互いの法律について、新たに異なった点を発見することができたと思います。ホストシスターもとても親切で私が理解できるようゆっくり話し掛けてくれたりして、たくさん会話することができました。ホストファミリーは、9月末から2週間日本に訪れるので再会を楽しみにしたいと思います。この海外派遣では、英語の楽しさを改めて実感することができ、とてもよい経験となりました。

最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった方々に心から感謝します。本当にありがとうございました。



オーストラリア海外研修派遣を終えて

大洲北中学校 山中 ゆめみ

オーストラリアで一番驚いたことは、山の上から町を見下ろした時に目に入ってきた風景です。家にも道路にもユーカリなどの木々が生い茂っていて、緑の木々の間から、ちらちらと家並みが見えました。また、家の庭は、日本なら2軒建ちそうなくらい広く、一面芝生で、広大な自然を生活の中に感じました。

しかしその反面、スーパーなどで食料品を買うと、日本なら2袋くらいで済む量を、同じ大きさの袋でも4袋くらい使ったりして、資源がもったいないとも思いました。

ホームステイで一つの家庭にとけ込むことで、観光では見れない角度から物事を見て、どの国にもこれからの私たちのために考えなくてはならないことがあるんだと強く思いました。世界にはたくさんの国があり、その数だけの文化があります。もっと国際化を進め、



互いの国のよいところをどんどん取り入れ、50年後の地球の事を世界が一つになって考えられるようになるとよいと思います。

海外派遣での感想

大洲北中学校 梅崎 杏菜

「オーストラリアどうやった？」帰国後、何人もの人にこんな質問をされました。私は、この質問の返答に困りました。オーストラリアで感じたことがあまりにも多すぎて、一言や二言では言い表せられないからです。とにかく、楽しかった。あえて一言で言うなら、空がきれいでした。日本では、空の色はとても薄く淡いですが、オーストラリアの空はとても鮮やかな青でした。これは、写真を見ればよりはっきりしました。私はオーストラリアの空が好きです。ゆったりと流れる時間が好きです。人が好きです。オーストラリアが大好きです。私が今回の体験で感じたことは、言葉は話すのではなく伝えるものだという事です。伝えようとすれば必ず伝わります。「話せない」のではなく「話せなくてもいいから伝えよう」という気持ちを持つことができました。今回学んだたくさんのお話を少しでも多くの人に伝えたいです。本当にありがとうございました。



中学生海外派遣事業

再会を夢見て

長浜中学校 宮下 滉平

オーストラリアでの生活は、行く前に想像していたものと違うところがあり少し戸惑うこともありました。例えば、家に靴のまま入ったり、休日には教会に通ったりと、日本と習慣も大きく異なっていました、直ぐに慣れました。

そして、何といても、山も海もすべてが壮大でした。ホストブラザーと一緒にいった自然保護区では、オセアニア独特の様々な動物たちに驚かされました。ホストブラザーとも、いろいろな話をして、とても仲良くなることができました。英語が通じない時には、辞書やジェスチャーを使いました。もっと単語を覚えていたら、たくさん話せていたのになあと思いましたが、それでも少しずつ聞き取れるようになりうれしかったです。この海外研修で学んだことを将来活かせるように、これからももっと英語を勉強しようと思います。そしてまたホストファミリーに会いにオーストラリアに行きたいです。



に、これからもっと英語を勉強しようと思います。そしてまたホストファミリーに会いにオーストラリアに行きたいです。

オーストラリア海外研修派遣へ行って

長浜中学校 鎌田 愛美

7月26日に沢山の人々に見送られ、私達は無事、大洲からオーストラリアへ向かう事が出来ました。長旅は少し疲れましたが、着いてみるとそんな疲れは無くなり、すっかり異国の地に感動してしまいました。

半日観光も終わり、ホストファミリーとの対面では、急に自分のホストファミリーが変わったのもあって、どのような家族なのか、仲良く出来るだろうか心配でした。でも会ってみたらとても良い家族でびっくりしました。それから毎日、子供達は遊びやお手伝いに私を誘ってくれ、お父さんやお母さんは沢山話しかけてくれました。面白い事などもしてくれ、笑いの絶えない家族でした。最後に別れる時は悲しかったですが、笑顔で見送ってくれたので、笑顔で別れる事が出来ました。

この家族、そしてこの事業には、抱えきれないくらいの思い出と知識を頂きました。それを今度は私が教える番です。沢山の人々に異国の文化や習慣を知ってもらいたいです。



ホームステイで学んだこと

河辺中学校 本山 明日香

約2週間、ホストファミリーと過ごして、毎日新しい発見と普段の生活を見直してばかりでした。

初めは思うように相手の話すことが聞き取れず、コミュニケーションがうまくとれませんでした。でも、ホストファミリーは、いつも笑顔で声をかけてくれて、私が話すことを真剣に聞いてくれました。そのおかげで、2、3日もしないうちに自然となじむことができました。

私はこの海外派遣事業で、ホームステイを充実させることを一番の目標にしていました。実際やってみると、思うようにうまくいかず、てこずってばかりでした。特に、YES・NOをはっきり言うことや、積極的に自分から会話することは難しく、最後までちゃんとできませんでした。でも、一緒に生活して、相手を理解することで、とても充実した2週間となりました。



ホームステイの楽しさ、難しさを実感でき、本当によかったです。

思い出の16日間

肱川中学校 沖野 由麻

このオーストラリア海外派遣では、たくさんの思い出ができました。

私の一番の思い出は、ホストスクールの生徒のみなさんと楽しく過ごしたことです。慣れない英語をジェスチャーと単語で伝えて、通じているかわからないけど、生徒のみんなは理解しようと頑張ってくれたので、本当にうれしかったです。

休み時間、みんなから、「What is your name?」と何回も聞いてきてくれて答えるたびに、私の名前を覚えてくれてとてもうれしかったです。

最後に一番ご迷惑をかけたホストファミリーの方々にはとても感謝しています。いつも私が優先で、ご飯何がいいとか、土・日どこ行きたい、など私が食べたものの、行きたいところに連れていってくれて、本当に感謝しています。いろいろなところへ連れていってくださったおかげで、オーストラリアのさまざまな文化など生活面がわかりました。本当にありがとうございました。



中学生海外派遣事業



収穫大の16日間

引率（大洲市立大洲北中学校）吉岡 聖子

今年度の大洲市中学生海外派遣事業の引率をさせていただくことが決まった時は、オーストラリアに行けるという喜びよりも不安の方が大きかったように思います。初めてのオーストラリア、そして引率という大役。しかし、オリエンテーションで団長さんである中野校長先生とお話をさせていただいたり、生徒たちの真剣で探求心にあふれるまなざしで説明を聞いている様子を見たりしているうちに、その不安は消え、出発の日を迎えるのが待ち遠しくさえ思えるようになっていました。

7月26日、多くの方々にお見送りいただき、大洲市役所前を出発し、中野校長先生、12名の生徒たち、そして私を含めた14名のオーストラリアへの旅が始まりました。

冬も終わりに近づいたオーストラリアでしたが、まだ朝晩は肌寒く、体調を崩しかけた生徒も何人か（私自身も）いましたが、中野校長先生からいただいた使い捨てカイロのおかげで、元気を取り戻すことができました。

学校での会話の授業は、毎時間とても充実しており、生徒たちも意欲的に取り組んでいました。英語という言葉だけを学ぶだけではなく、オーストラリアの歴史や文化を学ぶことで、より一層オーストラリアを身近に感じることができました。そして、ホスト校の先生方や生徒たち、老人福祉施設に入所されているの方々等、多くの人たちと話せたことも、大きな収穫となりました。そして何よりも、ホストファミリーへの感謝の気持ちは、言葉では言い尽くせません。ホストファミリーの方々のおかげで、この海外派遣事業が無事終了したといっても過言ではないと思います。

帰国した生徒たちの顔は、自身に満ちあふれていました。きっと以前にも増して、英語が好きになったことでしょう。私自身も、自分がどのくらい英語が好きかということを再認識できた16日間でした。この海外派遣事業でお世話になった方々に心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



愛媛県公共土木施設愛護事業の一部改正について

平成18年8月1日より、愛りパー、愛ロード、愛ビーチ制度への参加資格等が一部変更になりました。併せて一般サポーター制度が新設され、少人数でも参加可能となりましたので、皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。なお、詳しい内容につきましては、下記連絡先までお問い合わせください。

制度名	参加資格等	県からの支援内容	市・町からの支援内容
愛りパー制度 〔変更〕	原則10人以上【変更前20人以上】の団体 原則200mから500mまでの区間 年2回以上の活動を2年間以上継続的に実施できること。	団体の名称等を記載した標識看板の設置 ボランティア保険への加入 活動に必要な道具の支給	ごみ袋の支給 ごみの引取り処分
愛ロード制度 〔変更〕	原則10人以上【変更前20人以上】の団体 原則300m以上の一定区間 年2回以上【変更前年4回以上】の活動を実施できること。	同上	同上
愛ビーチ制度 〔変更〕	原則10人以上【変更前20人以上】の団体 活動延長の規定なし 年2回以上【変更前年3回以上】の活動を実施できること。	同上	同上
一般サポーター 〔新設〕	2人以上から参加可能 活動延長の規定なし 年2回以上の活動を実施できること。	ボランティア保険への加入 活動について必要と認められた支援 ※ごみは実施団体で処分	—

【問い合わせ先】 八幡浜地方局大洲土木事務所 事業管理課管理係 ☎24-5121 FAX 24-7525